

2026 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社N I T T A N
 代表者名 代表取締役社長 李 太 煥
 (コード番号 6493 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員 経理部部長 北村 隆
 (TEL. 0 4 6 3 - 8 2 - 1 3 1 1)

通期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

2025年5月14日に公表致しました、2026年3月期通期連結業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2026 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 48,700	百万円 2,370	百万円 2,450	百万円 1,490	円 銭 51.78
今 回 発 表 予 想 (B)	51,400	3,300	3,600	2,200	76.41
増 減 額 (B－A)	2,700	930	1,150	710	
増 減 率 (%)	5.5	39.2	46.9	47.7	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	51,446	1,507	1,896	630	21.91

2. 通期業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績実績数値を踏まえ、2026 年 3 月期の通期業績予想が 2025 年 5 月 14 日に公表した予想数値から変更となる見通しとなりましたので、修正致します。

当第3四半期連結累計期間では、中国での半導体不足や米国関税政策の影響はあったものの、高付加価値バルブの販売が回復したことに加え、予想為替レートに比べて円安で推移した為替換算効果により、売上高は堅調に推移致しました。さらに、利益面では、北米拠点での生産体制の効率化や、船用部品事業における火災影響からの回復などによる収益性の改善に加え、政策保有株式の売却に伴う売却益を計上致しました。

その結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて、2025年5月14日に公表した予想数値を上回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正致しました。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

3. 期末配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	7.00	—	7.00	14.00
今回発表予想				13.00	20.00
当期実績	—	7.00	—		
前期実績 (2025年3月期)	—	6.00	—	6.00	12.00

4. 期末配当予想修正の理由

当社は、長期的な企業価値向上の実現に向け、保有資産の見直しを継続的に進めております。

このたび、その取り組みの一環として一部の政策保有株式を売却し、特別利益を計上しております。

あわせて、2026年3月期の通期連結業績につきましては、本業の収益改善に加えて政策保有株式の売却益の計上も寄与し、従来公表しておりました予想を上回る見通しとなりました。

当社は従来より、業績の動向、配当性向およびキャッシュ・フローの状況を総合的に勘案し、可能な限り安定的な配当を継続することを基本方針としております。

今回、通期業績の上方修正が見込まれる背景となった今期の収益構造改善および政策保有株式売却という一過性の成果を、株主の皆さまへ誠実に還元する目的で、配当の増額を実施する予定です。

当社は引き続き、保有資産の最適化と財務基盤の強化に取り組むとともに、株主還元と成長投資のバランスを適切に図りながら、企業価値の向上に努めてまいります。

2026年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり7円を予定しておりましたが、上記の成果および業績予想の上方修正を踏まえ改めて精査した結果、1株当たり13円へと増額する予定です。

これにより年間配当金は、1株当たり20円となる見込みです。

以 上